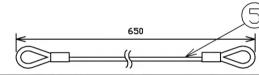


- ●アーム付看板灯で使用する場合は、必ず新設 の適合アームと組み合わせてご使用ください。 (谪合表参照)
- ●新設アームとアーム固定用のワイヤ。針金 等を別途手配し、たるみなく確実に取り付け て下さい。
- ●ランプの落下防止ワイヤをアーム補強会具 に確実に取り付けてください。

LEDランプ	アーム 対				
	固定アーム	CF-10N3、CF-10NW3、CF-111(K)			
LDR33N-H-E39/F LDR33L-H-E39/F	固定アーム (上方15°)	CF-11N3、CF-11NW3	0		
	可動アーム	CF-10NK3、CF-10NKW3	×		

※1



- ●調光機能のついた照明器具や回路では使用しないでください。(破損・発煙・故障の原因)
- ●誘導灯、非常用照明器具、防爆形照明器具などの器具では絶対に使用しないでください。(破損・発煙・落下の原因)
- ●安定器を使用する照明器具(水銀灯・HID用ランプ照明器具など)では、絶対に使用しないでください。 (破損。発煙。故障の原因)
- ┃●直流電源では、絶対に使用しないでください。(破損・発煙・故障の原因)
- |●紙や布などでおおったり、燃えやすいものに近づけないでください。(火災または器具過熱の原因)
- ●取り付け、取り外しや清掃のときは、必ず電源を切ってください。(感電の原因)
- ●ランプの口金部は防水構造ではありません。屋外で使用する場合には、弊社の屋外用チョークレス水銀ランプ(反射形)
- 専用器具と組み合わせて使用し、確実に器具に取り付けてください。(浸水による絶縁不良・感電・故障の原因) ●屋外で使用する場合には、適合器具以外の器具での使用や、器具の防水パッキンがランプに密着しない状態で、使用しない でください。(浸水による絶縁不良・感電・故障の原因)
- ●発煙や異臭などの異常を感じた場合、直ちに電源を切って使用を中止してください。(落下や破片飛散によるケガの原因) ●器具では指定されたワット数以下のランプを使用してください。(短寿命の原因)
- ●ランプはソケットに確実に取り付けてください。(落下の原因)
- |●ランプの大きさ(外径、長さ)および重さが適合する器具で使用してください。(器具落下の原因)
- ●電球スタンドや多灯用器具では、ランプの大きさ(外径、長さ)および重さが適合しているかを確認して使用してください。 (器具の転倒や落下の原因)
- ●既設の照明器具、配線器具の絶縁劣化がないことを点検のうえ、使用してください。(漏電や感電事故などの原因)
- |●既設の照明器具のソケットの受金および中心接触片が腐食していないか確認してください。(接触不良による事故の原因)
- ●ランプに亀裂が生じた場合、そのままの状態で使用しないでください。(落下、浸水により感電・ランプの故障の原因) ●落としたり、物をぶつけたり、無理な力を加えたり、キズを付けないでください。特に器具の清掃の時は注意してください。 (落下および破損によるケガの原因)
- ●点灯中や消灯後、しばらくは、ランプが熱いので絶対に手や肌をふれないでください。(ヤケドの原因)●塗料などをランプに塗らないでください。(過熱による破損・ケガの原因)
- ●引火する危険性のある雰囲気の場所(ガンリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵など)では使用しないでくだ さい。(火災や爆発の原因)
- |●振動または衝撃のある場所では使用しないでください。(落下および破損によるケガの原因)
- ●酸、アルカリ、硫黄などの腐食性雰囲気の場所では使用しないでください。(漏電や落下、□金腐食および破損によるケガ の原因)

部番	部品名	個数	材 質	摘 要
1	グローブ	1	PC(ポリカーボネート樹脂)	乳白
2	本 体	1	PC(ポリカーボネート樹脂)	白
3	□金	1	_	E39
4	ワイヤ取付け穴	1	_	_
5	落下防止ワイヤ	1	SUS(ステンレス鋼)	_

ラン	゜プ	仕 様		
光源色		昼白色		
寸 全 長 (mm)		225		
法 外 径 (mm)		165		
質 量(g)		780		
□ 金		E39		
電源周波数 (Hz)		50/60	共用	
定格入力電圧 (V)	AC100	AC200	AC242	
定格消費電力 (W)	33	33	33	
定格入力電流 (A)	0,343	0,169	0.144	
全 光 束 (lm)		4,200		
ビーム光束 (lm)		2,540		
ビームの開き (度)	1 1 0			
最大光度(cd)	1,230			
平均演色評価数 (Ra)	70			
相関色温度 (K)		5000		
定格寿命(h)**2	40,000			

※1:落下防止ワイヤは、出荷時、ワイヤ 取付け穴に取り付けられています。 ※2:定格寿命は設計寿命であり、寿命を保証

するものではありません。

LED電球

<u> </u>	酒 —— 单位	# m m	<u>出</u> 第二	田 毎注		└───── 東芝ライテック株式会社
	`		1		番	11112011 01079 01
	承	認	担	当	図	AA2014-54679-01
名	E 3	39/F	((1/2)	名	反射形(チョークレス水銀ランプ形)
形	LI	DR33	N – H	_	品	東芝LED電球

TOSHIBA 2014, 11, 556

- 。ご使用上の注意
- ●点灯時のランプ周囲温度が-20℃ $\sim+40$ ℃の範囲で使用してください。
- ●下記の環境。条件では使用しないでください。
- 。引火する危険性のある雰囲気の場所(ガソリン、可燃性スプレー、シンナー、ラッカー、粉塵など)。(火災や爆発の原因)
- ・振動または衝撃のある場所。(落下および破損によるケガの原因)
- ・酸、アルカリ、硫黄などの腐食性雰囲気の場所(温泉地など)。(漏電や落下、□金腐食、及び破損によるケガの原因)
- 粉塵の多い場所。(器具の過熱の原因)
- 。 冠水するおそれのある場所。 (漏電。感電。故障の原因)
- 塩素を使用している屋内プール。(漏電・感電・故障の原因)
- 油類、薬品などが付着する場所。(ランプの亀裂による漏電・感電・故障の原因)
- ・湿度の高い場所。(湿気侵入による絶縁不良・感電の原因)
- 周囲温度が非常に高くなる場所(ガス器具やストーブなどの熱器具の近傍)。(点灯不良。故障の原因)
- 。点灯時の周囲温度が40℃を超える場所。(点灯不良、故障の原因)
- 。塩害地域、重塩害地域。(短寿命。故障の原因)
- ●以下の器具には絶対に使用しないでください。(火災・感電・ランプの不点灯や短寿命の原因)
- ・調光機能(明るさを変える機能:100%点灯でも使用不可)のついた照明器具や回路
- ・透道灯や非常用昭明器旦防爆形昭明器旦
- ・水銀灯などのHID形照明器具(安定器を使用するもの)
- リモコンのついた照明器具や回路(適合表示器具を除く)
- 密閉形または密閉に近い器具(適合表示器具を除く)
- 。ランプと反射板の隙間が狭い器具(ダウンライトなど)(適合表示器具を除く)
- 。断熱材施工器具(SB、SGT、SG形表示器具)(適合表示器具を除く)
- 人感スイッチなどの自動点滅器や遅れ停止付スイッチ器具(適合表示器具を除く)
- 。既設のアーム付着板灯(新設アームを除く) ※このほか使用器具の種類によって寸法的、熱的、その他の状況により使用できない場合があります
- ●直流電源では絶対に使用しないでください。(破損・発煙・故障の原因)
- ●電源電圧は定格電圧(AC100/200/242V、50/60Hz共用)の±6%以内の範囲で使用してください。
- ●発電機を電源とする場合は、正弦波インバータ搭載発電機以外では使用しないでください。不点灯や短寿命の原因となることがあります。また、発電機を起動し安定してから、ランプに通電してください。
- ●旧タイプの漏電ブレーカでは、トリップすることがあるため、高周波対応の漏電ブレーカを使用してください。
- ●ランプ点灯時に点灯する表示付スイッチ(オンピカスイッチ)を使用した場合、表示が暗くなったり点灯しないことがあります。
- ●安全のため、設置の際は、必ず落下防止ワイヤおよびアーム補助会具(同梱)を取り付けて使用してください。
- ●ランプ本体の穴には落下防止ワイヤ以外は取り付けないでください。
- ●ランプを長時間直視するのはおやめください。目に悪影響を及ぼすおそれがあります。
- IFD素子には光色、明るさにバラツキがあるため、同じ形名の商品でも光色、明るさが異なることがあります。
- ●ランプを水洗いや分解、改造はしないでください。
- | F | 素子などは交換できません。
- ●ランプに向かって殺虫剤を噴霧しないでください。変色やランプひび割れの原因となることがあります。
- ●ラジオやテレビなどの音響および映像機器の近くで点灯しますと、雑音が入ることがありますのでご注意ください。
- ●赤外線リモコンを使用する機器(テレビやエアコンなど)の近くで点灯しますと、リモコンが誤作動する場合がありますのでご注意ください。
- ●外観などの仕様は、予告なく変更することがあります。

E-CORE_{TM}

形 名		DR33 39/I	-	I – (2/2)	品名	東芝LED電球 反射形(チョークレス水銀ランプ形)
	承	認	担	当	図	AA2014-54679-01
	酒	井	Ш	\blacksquare	番	111/2011 01073 01
単位 mm 第三角法		Į	東芝ライテック株式会社			